

Challenge !

Outlook Express  
日本語とスペイン語が混在するEメールを作成する

1/2

1. Eメールでは多国語言語が使える

A. 言語によって文字コードが違う (一例)

- 1. 日本語 文字コード ISO-2022-JP
- 2. 英語 ISO-8859-1
- 3. スペイン語 ISO-8859-1
- 4. 多国語 Unicode

文字コード: 文字や記号をコンピュータで扱うために、文字や記号一つ一つに割り当てられた固有の数字のこと

エンコード(Encode): 文字を一定の規則に基づいて符号化すること

2. Eメール作成・送信時に言語情報がEメールに組み込まれる

A. どの言語を使うかは【送信メッセージのエンコードの設定】で決まる。  
Default は「日本語(JIS)」に設定されている。(文字コードはISO-2022-JP)

B. Eメールヘッダー部分に「どの言語を使っているか」という情報(エンコード情報)が付加される。

3. 組み込まれた言語情報を使ってEメールを受信し、表示する

A. Eメールヘッダー部分にあるエンコード情報をもとに言語が選択され、Eメールが表示される。

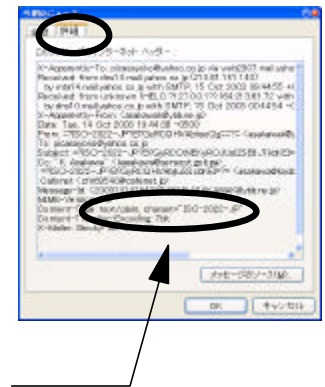
B. エンコード情報を調べる方法

a. [表示(V)] [エンコード(D)] または

b. ヘッダーを調べる

調べ方: メールを右クリック [メールのプロパティ] [詳細]タブ

例: Content-Type: text/plain charset="iso-2022-jp"



C. エンコード情報が間違っている場合 (送信者のミス)

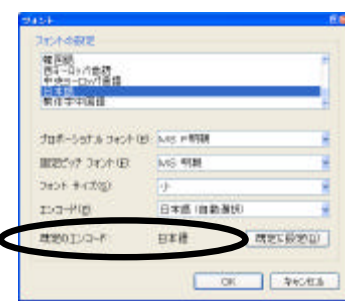
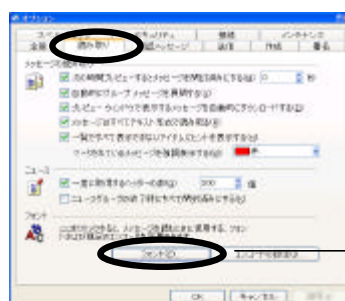
a. 「モジバケ」(文字化け)が生じて、メールの一部(あるいは全部)が読めない  
例: 日本語のメールなのにエンコードが "ISO-8859-1" になっている。

b. 解決方法: [表示(V)] [エンコード(D)] で正しい(と思われる)コードを選ぶ。

D. エンコード情報が付いていない場合 (特殊なソフトで生じる)

a. 【既定のエンコード】の設定が使われる

b. 設定の確認方法: ツール(T) オプション(O) 「読み取り」タブ [フォント]



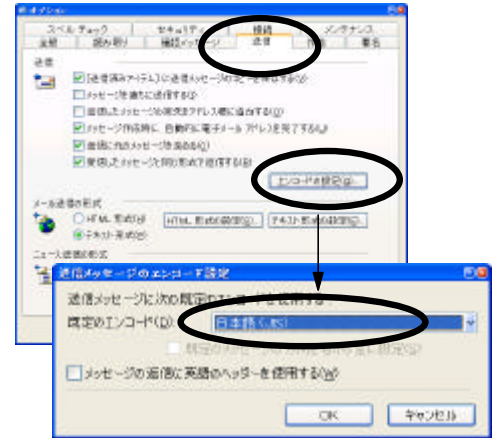
Challenge !

Outlook Express  
日本語とスペイン語が混在するEメールを作成する

2/2

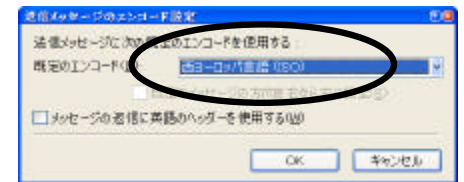
4. 日本語Eメールの作成

- A. ISO-2022-JP で作成する
- B. 作成方法
  - a. 普通、何も設定なしで日本語のEメールになる。(Default)
  - b. 設定の確認方法：[ツール(T)] [オプション(O)] [送信]タブ [エンコードの設定(G)] 【送信メッセージのエンコードの設定】



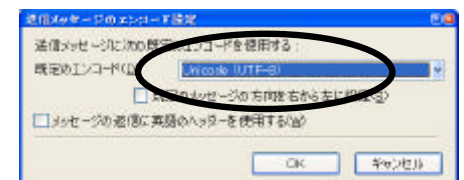
5. スペイン語Eメールの作成

- A. ISO-8859-1 で作成する。
- B. 作成頻度が少ない場合 - メッセージ作成時に設定する
  - a. 【メッセージの作成】 [書式ウインドウ(O)] [エンコード(N)] 西ヨーロッパ言語 (ISO) を選択する。
- C. 作成頻度が多い場合 - 送信時のエンコードの設定を西ヨーロッパ言語 (ISO) に変更する。
  - a. ツール(T) オプション(O) [送信]タブ [エンコードの設定(G)] 【送信メッセージのエンコード設定】で西ヨーロッパ言語(ISO)を選択する。



6. 日本語とスペイン語が混在するEメールの作成

- A. Unicode(UTF-8) で作成する。
- B. 作成頻度が少ない場合 - メッセージ作成時に設定する。
  - a. 【メッセージの作成】 [書式ウインドウ(O)] [エンコード(N)] UNICODE(UTF-8) を選択する。
- C. 作成頻度が多い場合 - 送信時のエンコードの設定をUTF-8 に変更する。
  - a. ツール(T) オプション(O) [送信]タブ [エンコードの設定(G)] 【送信メッセージのエンコード設定】でUnicode(UTF-8)を選択する。



UTF: UCS Translation Format